



ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2022年5月9日配信号

## 「日本の将来を憂う人々」

皆様こんにちは。  
ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか？

私は週末、最近勢いが増してきている新政党、‘参政党’のイベントに参加するため、横浜まで行ってきました。  
5千人の会場は満杯で、当日券も完売するほどの盛況ぶりでした。

現状の日本に危機感を抱かれている方が、かなり多いということではないでしょうか。

YouTubeでもおなじみの神谷宗幣代表、武田邦彦中部大教授、林千勝氏、井上正康大阪市大名誉教授などの錚々たるメンバーでどちらかという勉強会の様な感じでした。

ここでも日本の食糧問題の話題がいくつか取り上げられ、食糧危機対策としては勿論、健康上も「小麦を減らして米を食べるべき」という意見も出ていました。

またウクライナ関連では、アメリカのオースティン国防長官が「二度とロシアがこの様な事態を起こさない程度に弱体化させる必要があると」記者会見発表していました。

これの意味する事は、

1. 本格的にアメリカがウクライナを支援する。
2. という事は長期化し、簡単には事態は収束しない。
3. 下手すると戦後の日本のようにロシア軍を解体するところまでやる。
4. そうなると第三次世界大戦になってしまうかも...

という事ではないでしょうか？

ここまで行くことはないとしても、簡単には終わりそうにありませんね。

最近YouTubeでも食糧問題を取り上げる番組が急増してきました。  
先週私が見た気になる動画をご紹介します。

<https://www.youtube.com/watch?v=Mz95jJ5JZBM>

このメールマガジンを執筆中にも、ウクライナで約2500万トンの小麦が輸出できない状態にある、という記事が目に入ってきました。

ウクライナの主要積み出し港である南部オデッサなど黒海に面する港へのアクセスが、ロシアの攻撃により阻害されていることが要因のようです。

ある調べでは、ウクライナの小麦の輸出は世界6位、年間輸出量は3300万tぐらいですので、たった1～2ヶ月でほとんどが輸出できなくなったということです。

既に小麦相場の価格に織り込んでいるのかは分かりませんが、控えめに考えても供給不足が懸念されるのではないかと思います。

引き続き、情報発信をしていきますので次回メールマガジンをお楽しみにして下されませ。

ブラックスワン食糧保障 草間 弘人

2022.05.11

2022.05.11